

ZOOっと平川

特集1

チャップマンシマウマ

特集2

イベント特集

特集3

チンパンジー飼育員の1日



なんでもランキング くらべんみやり イクメンランキング (父親も子育てする動物たち)

育児にはげむ良き父！
動物界のイクメンたちを集めてみました。

エミュー

お父さんは約45日間、飲まず食わずで巣を外敵から守り、卵を温めます。ヒナがかえると、2~3ヶ月間、自立するまで連れて歩き世話をします。



No.1

ほららん
抱卵(卵を温めること)も
子育ても全部お父さんの仕事!

フラミンゴ

約28日間お母さんと交代で抱卵します。ヒナは親から「フラミンゴミルク」という液体を口うつしで飲ませてもらい育ちます。これはノドの奥の「そのう」という部分から出てくる液体なのですが、オスも出せます。



じゅにゆう
何と! 授乳(?)までしてしまう
お父さん



ワタボウシパンシエ

とても小さなサルの仲間です。赤ちゃんはお父さんがおんぶし、授乳の時間になるとお母さんにわたします。体のわりに大きな赤ちゃんを産むお母さんの負担をへらすためだと考えられています。



No.3

おんぶはお父さんの仕事

くらしみやり / 鹿児島市平川動物公園



鹿児島市 平川動物公園

〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1
TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328
■開園時間: 午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)
■休園日: 12月29日~1月1日
URL <http://hirakawazoo.jp/>

携帯サイトへ
アクセス!



編集・発行



公益財団法人
鹿児島市公園公社

〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号
TEL.099-221-5055
FAX.099-223-5690

チャップマンシマウマ



アフリカの草原地帯に住む「シマウマ」。平川動物公園の6頭のシマウマを通して、その不思議な魅力を紹介します。

★ひとことにシマウマといっても…

黒地に白のユニークなしま模様が目立つシマウマ。シマウマの種類は、サバンナシマウマ・グレービーシマウマ・ヤマシマウマの3種に大別されます。平川動物公園のシマウマは、サバンナシマウマの仲間のチャップマンシマウマという亜種です。特徴は、胸とお尻近くのしまとしまの間に、うすい茶色の線があることと、脚先に向かってしま模様が薄くなっていることです。

★生息地

南アフリカ東北部からボツワナ、アンゴラ南部など乾燥した草原

★食べ物

野生での主食は草ですが、動物公園では干し草やペレット(固形飼料)を食べています。個体の体調や年齢、季節に合わせてエサの種類や量を調整しています。シマウマなどの草食動物は、一日の大半を食べてすごします。

★シマウマの体(からだ)

顔：目は頭の上、顔の横に付いています。そのため、広い範囲に目が行き届きます。耳は大きく、左右別々に動かすことができます。とてもよく聞こえ、かすかな音にも反応します。

おでこ：個体ごとの「しま模様の違い」がわかりやすい部分です。

たてがみ：立ち上がった「たてがみ」や大きな耳は、ウマよりも口バに近い特徴です。

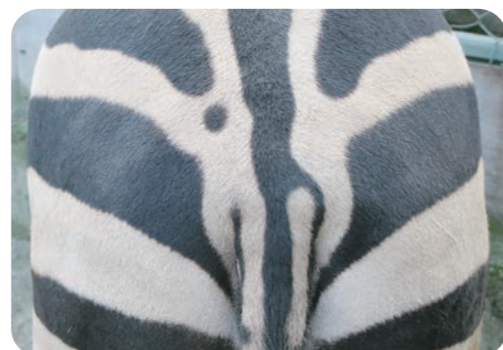
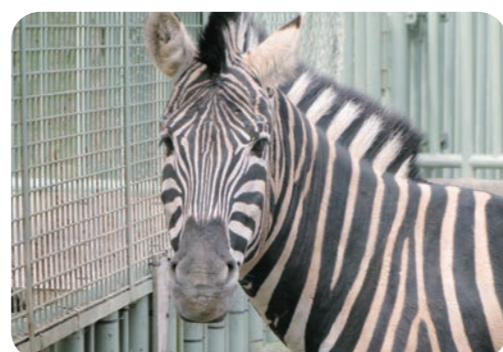
背中：競走馬などのウマに比べて、背中の構造が弱いので人や荷物を乗せるのには適していません。

脚：ウマの仲間は中指だけが発達し、他の指は退化しました。指の先は蹄という硬い爪で守られています。

おしり：シマウマ同士では、ライオンなどの敵に追われて逃げる時、おしりの模様で仲間を見分けるといわれています。

★しま模様のひみつ

しま模様は、私たちの顔がそれぞれ違うように、個体によって違います。保護色の役割があり、群れているとしま模様のおかげで、お互いの体の境目が見分けにくくなるため、肉食動物は狙いを定めにくくなるという説があります。また、しま模様には、血を吸うハエが寄りつきにくいという研究結果もあります。シマウマにとってのしま模様は、生きていく上で、なくてはならないものなのでしょう。



★動物公園で暮らす6頭のシマウマたち 違いがわかるかな？



リンタロウ(オス)

平成8年8月26日生まれ
ユウアとホープの父親
筋肉質で顔つきもよく、鹿児島弁でいう「よかにせ」です。



ナナ(メス)

平成13年7月22日生まれ
ユウアの母親
優しい目が特徴のナナは、穏やかな性格で、人なつっこい面もあります。私たち飼育員を見かけると近寄ってきます。



コリン(メス)

平成21年11月27日生まれ
ホープの母親
しっかりもののコリンは態度も堂々していますが、物音や環境の変化に敏感なところがあります。



キョロ(オス)

平成22年2月18日生まれ
マイペースな性格で、リンタロウを兄のように慕い、よくじゃれ合う姿を目にします。年齢を重ねるごとに落ち着きが増し、体つきもしっかりしてきました。



ユウア(メス)

平成24年7月3日生まれ
リンタロウとナナの子ども
2頭のいいところを受けついで「べっぴんさん」。乳離れはしましたが、まだまだ甘い盛りです。



ホープ(オス)

平成24年7月7日生まれ
リンタロウとコリンの子ども
好奇心旺盛な元気がいっぱいの子。これからの成長が楽しみです。

飼育員からひとこと

私たち飼育員や来園者をいつも楽しませてくれるアフリカ園。さわやかな気持ちのよい季節をむかえます。桜島を背に、穏やかな日差しを浴びたしま模様がいつそう鮮やかに輝くはず。シマウマにも是非、会いに来てくださいね。

担当者：川西・森山

むぜもんじや

むぜもんじや：鹿児島弁でかわいいねの意味



ロバ(小驢) ^{しょうろ} 名前 **ブンタ** (オス) 平成25年11月7日生まれ



生後5日目

こんな動物

きていもく
奇蹄目ウマ科
生息地：主にアジアで
かちくか
家畜化された品種
主食：草・木の葉

元気いっぱい

てんじょう
生まれてすぐに展示場デビュー！トレード
マークはフサフサの前髪です！（この前髪
は生後半年くらいでなくなります。）

生後15日目



ミルクの時間

まだまだ、お母さんのミルクで育ちます！
たくさん飲んで大きく育ってね。

生後4ヶ月目



ワンパクになりました

最近はお母さんとだけでなく、他のロバとも
元気よく遊ぶ姿を見るようになりました！あと
は、人見知りしないようになろうね！

担当者：米澤・川原

アカカンガルー 名前 **ランラン** (メス) 平成25年3月16日生まれ

こんな動物

ゆうたいもく
有袋目カンガルー科
生息地：オーストラリア
主食：草・木の葉や芽



生後約4ヶ月目

お母さんの育児のうち でスクスク

お母さん(リン)の育児のうち(ポケット)が
日増しに大きくなります。育児のうちの中
にある乳頭からミルクを飲んで、順調に
生育している様子です。

生後約6ヶ月目



手と脚が出てるよ!

少し前に初めて1頭で、外に出たけど、ここ(育
児のうち)が大好き！でも大きく成長して、きゅう
くつになってきたみたい。

生後約7ヶ月目



すっかり大き
くなったランラ
ンは、好奇心旺盛
でスクスク成長
中です！

ようやく外の世界へ

まだまだ小さいけど、お母さんの育児のうち
の中はもう卒業！でも、まだ母乳を飲むために近
くいることが多いよ。

担当者：寺原・落合

イベント紹介

毎日開催!
動物公園で人気のイベントや
コーナーを紹介します!

マントヒヒのエサやり

時間:午後2時~(エサがなくなり次第終了となります)
場所:マントヒヒ舎前(上側)



マントヒヒの群れとバーバリーシープにエサをあげることができます。マントヒヒの群れのしくみや仲間内での関係を観察でき、ずっと見ていても飽きませんよ!



食べているのは こんなエサ

キャベツ、サツマイモ、ニンジン、リンゴ、バナナ、パン、ペレット(固形飼料)などを与えています。その他、サトウキビや園内で取れる樹木などいろいろなものを食べています。どのエサが大好物かは、マントヒヒの反応を見れば一目瞭然です。



かんろく 貫禄十分! ナンバー1のオス「マンキチ」

一際大きく、マントのようなたてがみで、尾がないことからすぐに見つけることができます。平成12年生まれで現在14歳、体重は25kgもあります。たくさんのメスを引き連れるマンキチは、群れの中でナンバー1の実力があります。エサの時には、自分の群れのメスの口に入っているエサまで横取りして食べてしまいます。しかし、メスは他の群れのオスから攻撃される時はマンキチに守ってもらうのです。ギブ&テイクですね!

タッチングコーナー

時間:午前10時~11時30分
午後1時30分~3時
場所:タッチングコーナー



カイウサギやテンジクネズミ(モルモット)などとふれあえるコーナーです。生き物の「命」を、心臓の「ドクン、ドクン」という鼓動や、あたたかい体温で感じ取ることができますよ!

タッチングコーナーの アイドルたち



カイウサギ

背中を優しくなでられると気持ち良さそうにします。

テンジクネズミ (モルモット)



ひざの上で抱きかかえてあげると、あまりの気持ちよさに、うんちをしてしまうことも…ひざの上には布をしきましょう。

ふれあいコーナー

時間:午前9時30分~11時30分
午後1時30分~3時30分
場所:ふれあいランド



ヒツジやヤギとふれあえるコーナーです。広い展示場の中に直接入って、さわることができます。動物の「におい」や「なきごえ」を感じることができ、赤ちゃんがいるときには子育ての様子もみることができますよ!

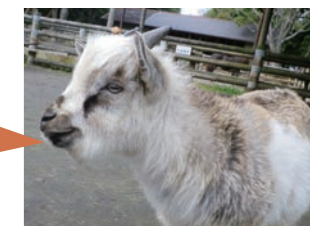
ふれあいコーナーの アイドルたち



ヒツジ
(サフォーク)の
「ミミ」(メス)

ももこの毛の感触は、なんともいえないやわらかさ!長くなりすぎると、毛刈りを行います。

トカラヤギの 「ヒナタ」(オス)



「メー、メー」と鳴いて、いつもお母さんに甘えています。とってもおいしいん坊です。

飼育員の一日

チンパンジー飼育員の巻

平川動物公園にはラルゴとケイ、2頭のチンパンジーが暮らしています。彼らのお世話をする飼育係の1日を見てみましょう!



平川動物園公園のチンパンジーたち

ラルゴ(オス)
オランダ生まれの
32歳

ケイ(オス)
札幌生まれの
22歳

ある日のスケジュール

担当者:小村・福守

8:15 朝の巡回と観察 打ち合わせ

14:00 観察 事務作業など

8:30 朝食の準備 放飼場の点検

飼育施設の整備 打ち合わせ

健康チェック 屋外へ放飼

15:00 シカ舎 ラマ舎の作業

観察 室内の清掃

16:00 夕食の準備 室内へ収容

9:00 オランウータン舎の作業

観察 放飼場の清掃

9:30 シカ舎 ラマ舎の作業

17:00 日誌の記入

11:30 ツル舎の作業
合間にそれぞれの動物種の観察

18:00 帰宅

12:00 昼休み

13:00 全体ミーティング(約15分間)

エサの搬入(青果類)

13:30 「チンパンジーのランチタイム」

飼育担当者:小村圭 福守朗
私たちが2人で担当しています。
ほかの担当動物はテナガザル、ツル、シカ、ラマです。



病気やケガをした時のために注射器や聴診器をあてる練習をしているよ!

8:30~健康チェック

「手!」、「肩!」、「お腹!」体の各部を触り、体温を計測します。この時、牛乳も飲ませています。



朝食の準備

野菜や果物が中心です。栄養のバランス、好みを考えながら準備しています。



放飼場の準備

先ほど準備した食べ物を放飼場のいろいろな場所に置いていきます。これで宝探しのように「見つける」楽しみを、チンパンジーたちが感じられるようにしています。アフリカの森にいる野生のチンパンジーは、起きている時間の半分ぐらいは食べ物を探したり、食べたりすることに時間を費やしています。時間をかけて探させることで、野生のくらしに少しでも近づけているのです。



観察

外に出すすぐは、活発に動きエサを食べているので健康状態がよく分かります。2頭の関係についても観察しています。仲良くできているかな?

チンパンジーを外に出す(放飼)

準備が終わり、扉をしっかり閉めたらチンパンジーたちを外に出します。開園前に出しますが、寒い時は室内で様子を見ることもあります。2頭同時に移動させても、ケイが先、ラルゴが後に出て行きます。



8:15~朝の巡回と観察

あいさつしながら見回ります。食べ残しやフンの状態、いつもどおり元気があるかななどをチェックしています。チンパンジー以外の動物舎も見回ります。異常はないかな?



8:30~健康チェック

「手!」、「肩!」、「お腹!」体の各部を触り、体温を計測します。この時、牛乳も飲ませています。



部屋の掃除

部屋の掃除をします。ホースから勢いよく出る水で流します。部屋の中の様子が変わったことがないかも注意しています。



9:00~オランウータン舎(テナガザル含む)の作業

テナガザルの朝食はチンパンジーのものと一緒に準備します。果物や野菜など食材が同じだからです。放飼場の準備をして外に出すのはチンパンジーと同様です。



9:30～健康チェック シカ舎 ラマ舎 ツル舎の作業

これらの動物たちも担当しています。午前中の主な作業は清掃です。



17:00～日誌の記入

体温測定の結果やその日の出来事、展示舎の気温などを記入します。必要に応じて獣医師に報告と相談をします。

帰宅

今日の仕事は終わりました！チンパンジーたちも眠るころです。

飼育員からひとこと

皆さんはチンパンジーと聞いて、どのような動物を想像しますか？「かわいい」「頭がいい」いろいろあると思います。

実は、チンパンジーを飼育することは、皆さんが思っているより大変なことなのです。なぜならば、非常に賢いだけでなく、力が強い生き物だからです。賢いだけに、相手の様子を見て態度を変えたりするのは朝飯前ですし、力があるので危険な面もあります。それだけに苦勞も絶えません、人間臭い仕草を見ていると、他人とは思わず親近感を感じます。

近々、リニューアルの一環で新チンパンジー舎建設の予定があります。チンパンジーの魅力が伝わる施設にしたいと考えています。群れのメンバーを増やして、もっとにぎやかにする計画もあります。どうぞ楽しみに！



チンパンジー豆知識

「毛づくろいは何のためにするの？」

時々、ラルゴとケイが向かい合って毛づくろいをしている姿が見られます。これは「グルーミング」とよばれます。元々は外部寄生虫(シラミなど)を互いに取り除く行動なのですが、そのようなものがいなくてもグルーミングは見られます。なぜでしょうか？

それは、仲のいい者同士が集まって体を接触させ、時間を共有することにより「ボクたちは仲間だよね!」ということを互いに確かめ合っていると考えられています。

また、群れで優位な個体、尊敬されている個体はグルーミングされることが多いです。これはグルーミングに「ご機嫌取り」の意味もあるからです。

以上のようなグルーミングは満腹になって、リラックスしている時に見られます。しかし、それとは別の場面でもグルーミングは見られます。例えばライバル関係にあるオス同士でのグルーミングは、緊張を和らげるために行っていると考えられます。体を接触させることで互いに落ち着くのでしょう。

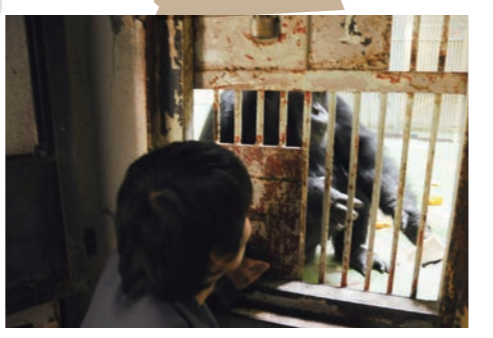
昼休み(昼食)

たっぷり働いたら、人も栄養補給です。いただきます！



13:00～エサの搬入

新鮮な野菜と果物は週に2回の配達があります。軽トラックに乗せて運びます。



観察

夕食を食べる様子を観察します。食べるペース、エサへの反応で体調が分かります。



チンパンジーを室内に入れる(収容)

夕食を室内にセッティングしたら、チンパンジーたちを室内に収容します。声をかけつつそれぞれの部屋に誘導します。

13:30～チンパンジーのランチタイム

昼食を与えながらチンパンジーについて解説をするひと時です。毎日13時30分から行っています。

14:00～打ち合わせ

近々、新チンパンジー舎の建設が予定されています。見て楽しく、住んで快適な施設になるよう意見を出し合います。その他の予定や計画についても話し合います。

15:00～シカ舎 ラマ舎の作業

干し草を与え、異常がないかを見ています。来園者の方からの質問にも答えます。

16:00～夕食の準備

栄養のバランス、季節や好みに応じて夕食の準備をします。